

(3) 既存の細形成新画や連携計画の評価^⑩
 既に策定された交通計画の経過を調査し、実証実験
 の効果と実施に至らねばならない事業も把握する。経過状
 況からデジタル化等の社会的変化に対応して改められた
 策として有効か、マイ・ジビリティを検討する。

- ⑩ 論文では、特定の状況を取り上げるのは適切ではないと思います。これでは、計画の変更手続きになってしまいます。シンプルに、上位計画や関連計画の把握で良いのではないのでしょうか。

2. 業務を進める手順と留意点、工夫点
 (1) 関連する計画や関連部署の施策整理
 上位計画である自治体の総合計画や都市マスター
 プラン^⑪に加え、環境基本計画や高齢者保健福祉計画を調
 査する^⑫。客観点を視点から、関連部署とのクロスセク
 ター効果を踏まえ総合的・戦略的な連携を行う^⑬。
 立地適正化計画との連動により居住誘導地区^⑭で都

市機能誘導地区^⑭の設定を行う^⑮。大規模なまちづくりが
 計画されている場合^⑯、都市・地域総合交通戦略
 の連携を行う^⑰。工夫^⑱、効果的^⑲な交通施策の展開を図る。

- ⑪ 「都市計画マスタープラン」
 ⑫ これらの計画を調査すべき理由（考え）を記載すべきです。また、調査事項は、最初のセクションで書くものではありませんか。
 ⑬ 色々と言いたいことが混ざりすぎていて、何が言いたいかわかりにくくなっています。整理整頓が必要です。例えば、連携するための手法を添えて「クロスセクター効果を踏まえた総合的・戦略的な連携を図るため、関連部署で構成する検討組織を設置する。（なお、検討に当たっては、クロスセクター評価を定量化するなど客観性の確保に留意する。）」といかがでしょうか。（）内の要否はスペース次第ですかね。
 ⑭ 「居住誘導区域」・「都市機能誘導区域」
 ⑮ 地域公共交通計画において、居住誘導区域や都市機能誘導区域を設定できません（これは立地適正化計画で設定するものです）。地域公共交通計画において行うのは、これらの拠点を結ぶ公共交通ネットワークの設定です。
 ⑯ なぜ大規模なまちづくりが計画されている場合には、都市・地域総合交通戦略（この計画である必要性）と連携する必要があるのかわかりません。因果関係を説明しましょう。

- ⑰ 連携は「行う」ものではなく、「図る」の方がふさわしいと思います。
- ⑱ 効果が分からないので、なぜ工夫点なのかも分かりません。
- ⑲ 「な」→「に」

(2) 定量的な計画目標と定量的な指標の設定
 利便性向上と利用促進を定量的に評価するため²⁰ 計画目標年度に對し、目標値を設定し、現状値からの変化を可視化する²¹。また、地形や道路交通状況を踏まえ、交通不便地域の指標を設定し、クリティカルな施策²²の構築を回すことで、目標設定の可視化²³を行う。そう
 して、施策を短期・中長期毎に分類し、P D C Aサイクルによる計画の達成状況の評価²⁴を行うことで、更新・見直し等の適宜改善を図っていく。

- ⑳ 「利便性向上と利用促進を評価するため」は計画における目標となっています。つまり、計画目標例を書いてしまっています。ここで書くのは、業務の手順ですよ。この計画がどうあるべきかではありません。
- ㉑ 目標値の効果を説明する必要はないと思います。繰り返しますが、業務の手順を書くべきなので、業務内容を淡々と書くべきです。工夫点として、目標は極力定量化する程度でいいと思います。
- ㉒ 「クリティカルな施策」との表現は違和感があります（必須課題を参照）。
- ㉓ 可視化については、前述しているので重複しています。
- ㉔ これは評価手法です。別途項目立てした方が良いでしょう。

(3) 実現のために必要な事業・実施主体の整理
 事業者の経営的・人材的状况²⁵を踏まえ、実行の困難性や計画年度も施策毎に整理する。計画地域への交通分担率が小さい事業²⁶は、国等の補助制度との連携も想定し、あらゆる主体との協働した施策²⁷の構築を図る。

- ㉕ 人材も経営状況に含まれるともいますので、まとめて「経営状況」で良いと思います。
- ㉖ 「交通分担率が小さい事業」とはどういう意味でしょうか。PT 調査においては、「交通手段分担率」が正しい表現です。これとは違う意味合いですかね。
- ㉗ あらゆる主体は、書きすぎだと思います。あらゆる主体と何を協働するのか分かりません。この文は、キーワードだけが独り歩きして、文全体として何が言いたいのか分かりません。用語を正しく使う、主語述語を明確にする、具体例を挙げるなど分かりやすさ

を意識して書かれると良いと思います。

※ ここ（設問2）で書くべきは**業務手順**です（計画自体の内容を書いているケースが散見されます）。検討ステップが少ないと思います。大まかに以下の手順と考えます（他の計画も大きな流れは一緒）。

- ① 検討組織の設置
- ② 課題抽出
- ③ 基本方針の策定
- ④ 公共交通ネットワークの検討
- ⑤ 施策の検討
- ⑥ 目標の設定
- ⑦ 評価手法の検討
- ⑧ パブコメ

以上の内容を端的（1～3行程度）に説明し、必要に応じ工夫点、留意点を添える形で書き進めましょう。



- ① 部署というと組織内の話に限定されませんか。後述をみると、外部団体・住民も含まれているので、「関係者に対しては」とした方が良いと思います。
- ② 文が長いです。余計な修飾語や、無くても意味が分かる文節は削除することを意識した方が良いでしょう（論文全体に言えます）。この場合「交通事業者に対しては、協議会を組織し調整を行う。必要に応じて交通モードごとに下部組織を設けるなど、具体的な調整が可能となるよう工夫する。」とかいかがでしょうか。
- ③ 「適格」→「的確」
- ④ 「計画の策定方法」ではなく、調整方策を書いた方がより良いと思います。例えば、「利用者に対しては、行政の情報提供のみでなく、意見交換等が可能となるようにワークショップを実施する。」とかいかがでしょうか。